

事業者名	三井住友建設株式会社														
本社所在地	東京都中央区佃二丁目1番6号														
業種	総合建設業														
事業概要	建設事業(土木・建築・プレストレストコンクリート工事の設計・施工及びこれらに関する事業) 開発事業(不動産の売買、賃貸及び管理に関する事業)、再生可能エネルギー事業など														
事業活動エリア	日本全国 (全国支店: 11、営業所・出張所: 29)														
企業URL	https://www.smcon.co.jp/														
地方公共団体との マッチングを望む 分野	高 ← 優先度 → 低 <table><tr><td>1</td><td>公共施設での太陽光発電</td><td>4</td><td>バイオガス</td></tr><tr><td>2</td><td>住宅・民間への太陽光発電普及</td><td>5</td><td>その他</td></tr><tr><td>3</td><td>小水力発電</td><td></td><td></td></tr></table> その他 : ため池の水質改善			1	公共施設での太陽光発電	4	バイオガス	2	住宅・民間への太陽光発電普及	5	その他	3	小水力発電		
1	公共施設での太陽光発電	4	バイオガス												
2	住宅・民間への太陽光発電普及	5	その他												
3	小水力発電														
地域づくりに貢献する 「地域脱炭素」を通じて 実現したい社会像	再生可能エネルギーの地産地消を軸に、地域住民・自治体・企業が一体となってエネルギーを地域内で循環させ、CO2削減と地域経済の活性化を同時に実現する「地域共生社会」を目指します。 国産再エネの最大活用は、海外燃料への依存を減らしエネルギー安全保障の強化にも直結します。導入にあたっては自然環境への負荷を最小限に抑えることを重視し、次世代に誇れる持続可能な地域づくりに貢献してまいります。														
地方公共団体の脱炭素の 目標や課題に対して 提供可能な ソリューション	■ソリューション① 水上太陽光発電（実績：8カ所の水上太陽光発電所 DC 14.4MW） ・水上太陽光発電は、農業用ため池や調整池など水面の有効活用、森林伐採・造成が不要など環境負荷が小さい等多くのメリットがあります。加えてため池の維持管理支援など地域貢献実績があります。 ・太陽光発電協会（JPEA）内の水上太陽光推進WGメンバーとして勉強会や講演会の実績多数 [取組事例：大阪府泉佐野市での水上太陽光発電事業(オフサイトPPA)] ・4つのため池に計4.7MW(DC)を設置し、地域新電力を介して市内に電力供給する地産地消モデル ・発電量1,522世帯分(世帯数換算)、年間平均CO2削減量2,456t。地域共生に向け様々な地域貢献を実施 [適地拡大のための技術開発] ・洋上への拡大：東京ベイeSGプロジェクトによる実証試験(実証終了)、NEDO事業による瀬戸内海での実証試験(実証中) 積雪地域・凍結地域への拡大：実証実験を実施 [水質改善への取組：水上太陽光発電の電力とフロートの浮力を活用し、水質改善装置を稼働] ・曝気装置や水流循環装置などによるアオコ等の発生抑制を検証中 ■ソリューション② 小水力発電 ・適地選定、導入可能性調査から設計・事業性の評価まで自治体のニーズに合わせてご支援可能 ■ソリューション③ 鶏ふんバイオガス ・バイオガスによる発電に加えて、副産物の硫酸アンモニウム等は農産物の重要な肥料として活用できます ・環境省の「地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業」実証実験(実証終了)														
地方公共団体との 連携実績	・香川県善通寺市：「令和4年度 善通寺市再生可能エネルギー導入促進 支援業務」に参画 ・大阪府泉佐野市：水上太陽光発電事業公募に採択（経産省、環境省の補助金活用） 環境省の脱炭素支援サイト「Good Echo」に掲載、JPEAソーラーウィーク大賞特別賞 ・茨城県笠間市：「脱炭素先行地域」に選定 共同提案者（水上太陽光発電事業）として参画														